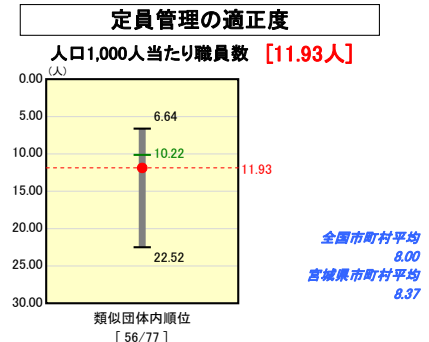
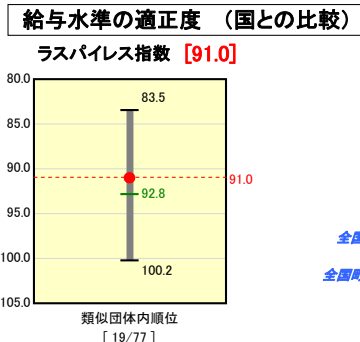
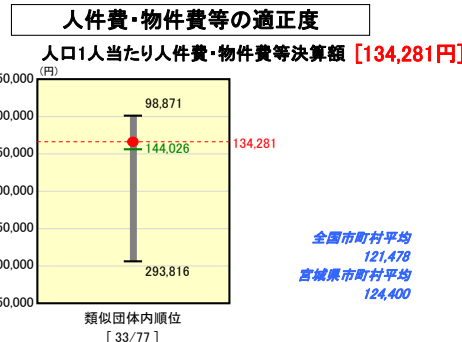
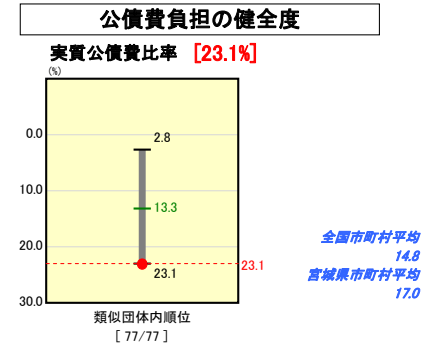
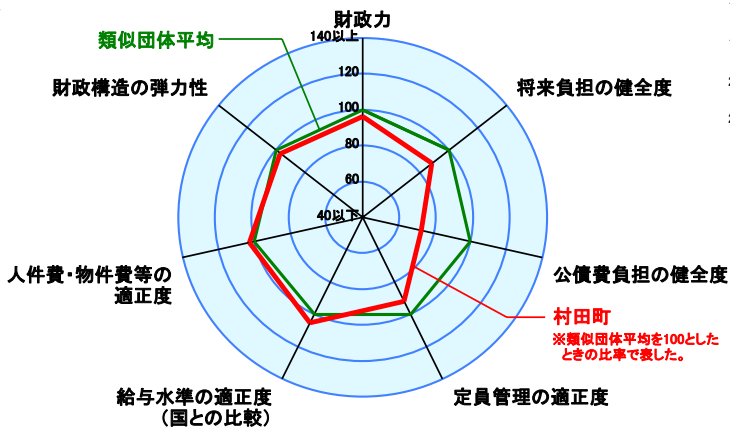
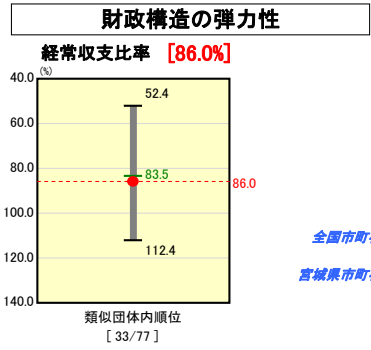
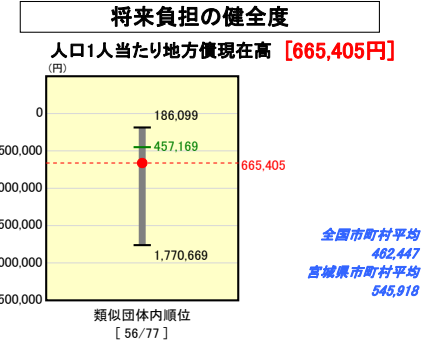
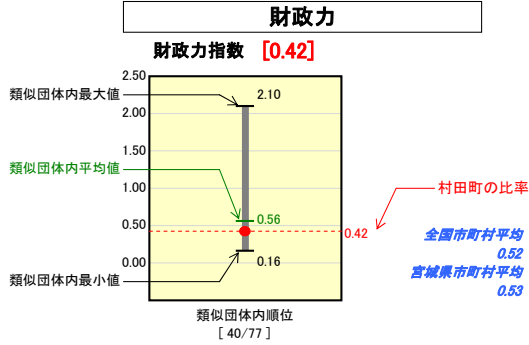


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

宮城県 村田町

人口	12,830	人(H18.3.31現在)
面積	78.41	km ²
歳入総額	5,223,827	千円
歳出総額	5,065,468	千円
実質収支	96,946	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数**
 - 町税等の減収により類似団体平均を下回っているが、ここ数年連続で上昇傾向を示している。今後は平成18年3月に策定した「村田町財政改革プログラム」を確実に実行し歳出の更なる抑制対策に取り組み、収納対策を強化し町税収入等の自主財源の確保に努め財政基盤の強化を図る。
- 経常収支比率**
 - 既に取り組んだ、管理職手当の減額、費用弁償・車賃単価の引き下げ、日帰り出張における日当の廃止や町を挙げたの歳出抑制対策により類似団体平均を下回っている。今後は歳出抑制対策を継続し、特に職員・議員定数の計画的削減により人件費総額を抑制し、各種会計の健全化等を図りながら更なる経常経費の削減に努める。
- 人口1人当たりの人件費・物件費等決算額**
 - 職員定数削減に加え、各種委託料や旅費等の見直しにより、前年度決算額と比較し歳出抑制に繋がった。類似団体平均を若干下回っているが、引き続き歳出抑制対策を固り削減に努める。
- ラスパイレス指数**
 - 類似団体平均を1.8、全国平均を2.5それぞれ下回っており給与水準は低い状況となっている。今後も給与の適正化に引き続き取り組む。
- 人口1人当たりの地方債現在高**
 - 過去の普通建設事業等に伴う大幅な地方債発行により現在高が多額となり、加えて人口が毎年度約1%づつ減少傾向にあることから人口1人あたりの現在高は増加傾向にあり類似団体平均を上回っている。今後の地方債発行については、円滑な償還が可能となる範囲においてメリハリをつけた発行を基本とし、その圧縮に努める。
- 実質公債費比率**
 - 県内で最も高い水準となっている。主な要因としては、各種会計等への繰入金や各種組合等への負担金が多額になっていることが挙げられる。今後は公共下水道事業・上水道事業とも公債費が償還のピークを過ぎ減少していくことに加え、多額の地方債発行が見込まれないことから、実質公債費比率は確実に減少し、平成23年度には18.0%以下になるものと計画している。
- 人口1,000人当たりの職員数**
 - 職員定数削減の取り組みにより前年度と比較し改善が図られているが、依然として類似団体平均を上回っている。今後は「村田町財政改革プログラム」に基づき各年度退職者の補充は原則1人に留め、削減を図る計画である。